



## 湾岸・アラビア半島地域ニュース

トルコ：米海軍艦船の黒海派遣とトルコ政府の対応

(8月20日付現地各紙)

20日付現地紙は、グルジア支援のための米国艦船の黒海派遣について報じている。概要以下の通り。

1. トルコ政府は、グルジアの人道物資輸送を目的とした2隻の米国艦船のダータネル及びボスポラス海峡経由による黒海派遣について、モントルー条約に基づく重量制限を理由に許可していない。
2. 1936年に締結されたモントルー条約では、両海峡を通航する軍艦(複数可)の最大総トン数は15000トン以下と規定されているが、米国が派遣しようとしている米海軍所属のメルシー(USNS Mercy)及びコンフォート(USNS Comfort)の総トン数は共に69000トンであり、同条約の通航制限を越えている。
3. 18日、米国防省報道官は米国とトルコは同病院船の海峡通航について協議を行っていることを述べた。
4. 今後、トルコは米艦船の通航を認めるか否かの究極の選択をしなければならない。もしトルコが通航を認めなければ米国との関係を悪化させ、もし通航を認めれば、米艦船の黒海派遣に反対するロシアが、モントルー条約の改正を要求するだろう。トルコは今後、グルジア問題に関し米国及びロシアとの間でバランスのとれた難しい対応が求められる。

### <参考>

モントルー条約は、1936年にスイスのモントルーで調印されたトルコ領内のボスポラス海峡、マルマラ海及びダーダネルス海峡の通航制度を定めた条約で、軍艦に対する重量、武装等の制限を細かく規定している。